

【松村主宰の俳句】

幸福な春

松村五月

純粹にさくら色なる夜の桜
言葉より白詰草の冠を
捨てるものあり幸福な春であり
無色でも七色でもなく春の虹
恋か否さくらさくらと散りぬるを
人声の届く距離にて山桜
飛花落花智恵子の空を見にゆかん
明るくて四月の雨に濡れようか
群青の海に憧れアネモネは
みどり児の笑い声とは春の虹